

令和4年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく学生への回答書

【工学部】

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和5年1月30日	FDCHAmmiT参加者（教職員含む）及び学生スタッフ、工学部FD委員会委員長、FD委員会副委員長、教務課の計10名が対面形式にて1時間20分程度、学部提案書に基づく学生への回答書について意見交換を行い、回答内容を共有した。

2 学部提案書の対応について

学部を「理想の学部」にするための提案について

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
授業評価アンケートについて、学生は回答後に確認ができないため、教員との意見交換の場を設ける。	○			授業評価アンケート実施の際、自由記述等の内容をもとに、次学期以降の開講の際に、対応内容について学生に説明するよう学部として教員に依頼しておりますが、自由記述内容等における回答について、学生さんにフィードバックするよう改めて周知徹底いたします。
授業における課題の提出先の統一を図って欲しい。		○		ポータルサイト、Google classroom、Zoom等を使用しそれぞれのメリットを活用しながら対面授業を中心に、オンライン授業も組合わせて行っておりますが、課題提出もそれに応じた提出となるため、現状での完全な統一はできておりませんが、令和4年度後学期からポータルサイトをバージョンアップしたことに伴い、1ファイル当たりのデータ容量がこれまでの10Mから100Mへとアップしたことにより、ポータルサイトへの集約化が以前よりも図れ、使用ツールの一元化につながるものと考えております。
ポータルサイトを学期途中で変更しないで欲しい。	○			令和4年後学期から、ポータルサイトをバージョンアップし、見え方等が変わったり、新機能が追加されたりしております。 システムの安定稼働等におけるリスクを回避するため、年度が変わる前学期からではなく後学期からとさせていただきます。学生さんにおかれましては、前学期までと操作等が変わり戸惑った部分があったかもしれません。しかしながら夏期休暇中に操作等におけるマニュアル動画をアップするなどの周知に努めて参りました。 バージョンアップからまもなく半年が経とうとしており、現在は操作も慣れてきたかと思しますので、引き続き活用され学修に役立てていただくようお願いいたします。
学生の意見を取り入れた施設を作り、学修及び研究の意欲向上を図って欲しい。		○		施設の建設自体の機会がそう多くない中で、学生さんの意見を取り入れた施設建設の一例として、現在進行中の「ロハスの家群跡地再生プロジェクト」があり、令和元年10月の台風19号による被災により撤去された「ロハスの家」について、学生及び教職員が参画しコンセプトやデザイン等についてワークショップを行うなどし、令和5年度中の完成に向けプロジェクトが進行しております。
キャンパス内のWi-Fiを強化して欲しい。		○		年次計画で、無線LAN設備については毎年度、高性能な機器に更新するなど、随時改善に努めておりますのでご理解くださるようお願いいたします。 また、令和5年度から、学内ネットワークへのログイン認証について、これまで接続の都度行っていたものから、年度内1度のみへと手続きを効率化するべく設定変更について準備を進めております。これにより、学生さんの利便性が各段に向上するものと考えております。 なお、調査は行っておりますがWi-Fiが脆弱な教室等がある場合は、ご連絡いただければと思います。

令和4年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく学生への回答書

【工学部】

項目	対応済	対応中	未対応	対応内容
日本大学は学部ごとにキャンパスの場所が異なっており、他学部の状況等が分からないため、学部ごとに学生中心の意見交換会を実施し情報を共有し合い、お互い改善すべき所は改善するなどし、全学的により良い大学作りをして欲しい。		○		<p>コロナ禍のため、工学部では授業を中心とした学生生活の向上や学生の学修意欲の向上を図るための「学生FD活動推進プロジェクトチーム」の活動を見送って参りました。</p> <p>令和5年度は、コロナについて感染症法上の分類が変更予定であることなどから、活動開始について状況を踏まえながら検討して参りたいと考えております。</p> <p>各学部がそれぞれの場所にありながらも情報共有し、学生さんの声で改善すべきところを改善し、日本大学が全学的により良い大学づくりが実現できればと考えております。</p>
クラス分けした科目において、クラスによって授業の実施形態が異なったり、課題が出るクラスと出ないクラスがあったことから、違いが無いようにして欲しい。		○		<p>学部として、オンライン授業受講希望の申請があった際には、令和4年度は随時対応して参りました。当該科目について担当教員に確認しました結果、クラスによって実施形態が異なったのは、当該クラスにオンライン授業受講申請学生がいたために対面とオンライン授業の併用に切り替えたため、担当教員はその旨当該クラスの学生さんには伝えていたとのことです。</p> <p>また、課題の有無についても担当教員に確認しました結果、他のクラスにオンライン授業受講申請学生がおり、出席確認のために課題を出して参りました。その課題の内容については、授業内で課している内容と同一であることから、学修内容に差が出るものではないとのことです。ご理解くださるようお願いいたします。</p>
成績処理が終了次第、速やかに公開して欲しい。			○	<p>成績公開までの処理作業については、確認等も含めかなりの時間を要することから、現状の公開時期が適当ではないかと考えて参ります。今後、システム処理の関係上、早めに公開できるときには柔軟に対応いたしますので、ご理解くださるようお願いいたします。</p>

※令和5年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。

3 工学部から学生へのメッセージ

未だ終息を見ないコロナ禍にあって、皆さんは未だコロナ前の生活に完全には戻れず、感染対策や行動の自粛や制約の中で学生生活を過ごされてきたことと思います。工学部では、感染対策と教育効果の両立を第一に考え、対面授業を徐々に増やしながらいオンライン授業も適切に組み合わせ、令和4年度は授業を展開して参りました。令和4年度後学期にはポータルサイトのバージョンアップを行い、より体系化した学修が可能になって参ります。

令和5年度は、感染状況を踏まえながらではありますが、完全対面で授業を行う予定です。また、工学部内での学生FDについても活動を検討いたします。予測不可能な時代に、常識に捉われず、工学部で学んだ貴重な経験を生かして「自主創造」を実践し社会で活躍するエンジニアを輩出できるよう、教育の改善に努めて参ります。